

# 上高地旅行

19日(3日目) 徳澤園>明神池>河童橋>ウエストン碑>田代池>大正池→藤沢

## 徳澤園のあゆみ

明治十八年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 明治十九年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 大正四年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和二年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和四年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和九年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和二十五年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和二十九 年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和三十一年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 昭和五十年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史  
 平成五年 ★上高地駅舎を築く前代上郷百次史




西郷隆盛(南州の言)



## 小説「氷壁」と徳澤園

「氷壁」あらすじ  
 小説「氷壁」は、徳澤園の歴史を題材にした小説である。徳澤園の歴史は、明治十八年に上高地駅舎が築かれたことからはじまる。徳澤園は、上高地の中心地であり、多くの観光客が訪れる。小説は、徳澤園の歴史をたどり、その発展と変化を描く。徳澤園の歴史は、明治十八年に上高地駅舎が築かれたことからはじまる。徳澤園は、上高地の中心地であり、多くの観光客が訪れる。小説は、徳澤園の歴史をたどり、その発展と変化を描く。




三尺の大名  
「風林火山」



左が昨日の屏風岩 正面は ? (8時5分)





カラマツソウ



キバナノヤマオダマキ



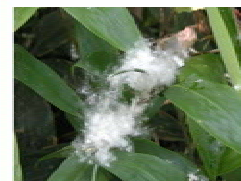
サワギク



センジュガンピ



ケショウヤナギ ?



落ちてきた綿



クガイソウ





??蝶



明神橋 (9時00分)



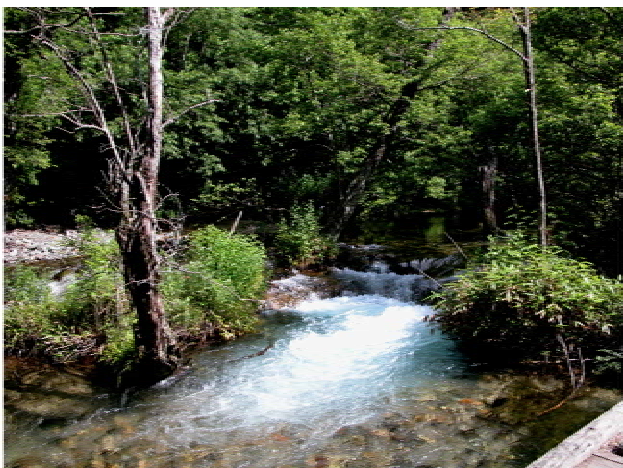
ドロセナギ?



明神池

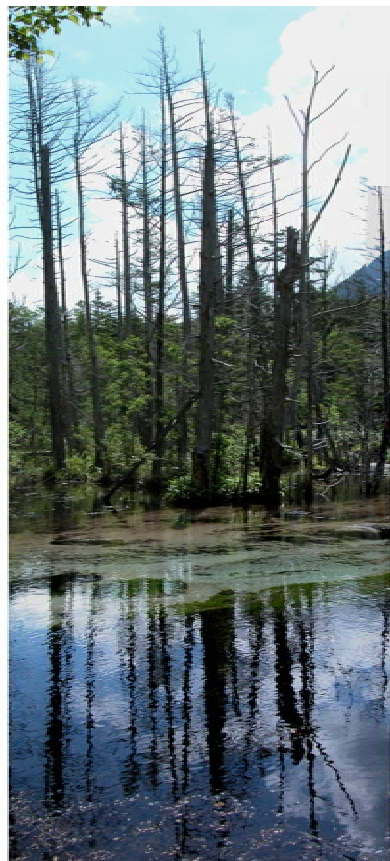


綿毛が橋の上に白い雪のように舞っている



本当につめたい清い流れ





六百山？



河童橋の少し上流(10時45分)

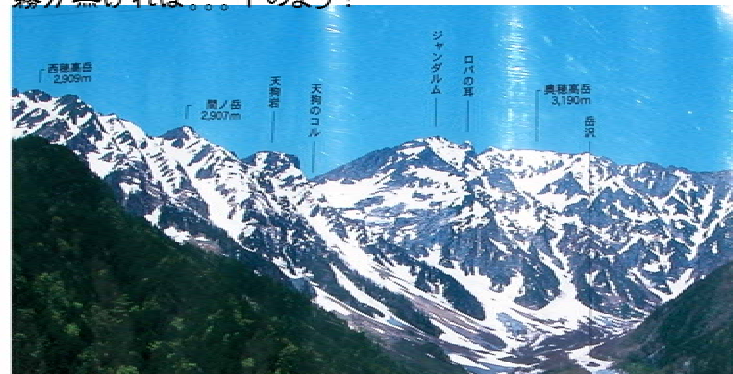


河童橋

(10時58分)



霧が無ければ。。。下のよう？





## ウエストン碑

英人牧師ウォルター・ウエストンは、明治21年(1888年)から同28年(95年)までの日本滞在中に槍ヶ岳や穂高の山々を数多く歩き、我が国に近代的な登山意識をもたらし、日本山岳会結成のきっかけを作りました。

また、その間の紀行文「日本アルプスの登山と探検(明治29年)」により、中部山岳を世界に紹介するなど、その業績は高く評価されています。

ここにあるレリーフは、日本山岳会が昭和12年にウエストンの喜寿(77才)を祝って作ったもので、昭和40年にかけてなおされています。

## 六百山と霞沢岳

穂高の名声に隠れがちですが、梓川左岸の山にも捨てがたい魅力があります。あまりにも近すぎるため、全容を望める場所がかえって少ないのですが、このあたりは二つの山がもっともよく見えるところです。

登る人もまれな山ですが、かすみざわだけ霞沢岳には、とく徳本峠とくほんとうげから尾根伝いに登山道が通じています。

ろっぴやくさん六百山、はちえもんざわ八衛門沢などこのあたりの地名には、かつて木材生産の場であった上高地の、長い歴史が示されています。



六百山

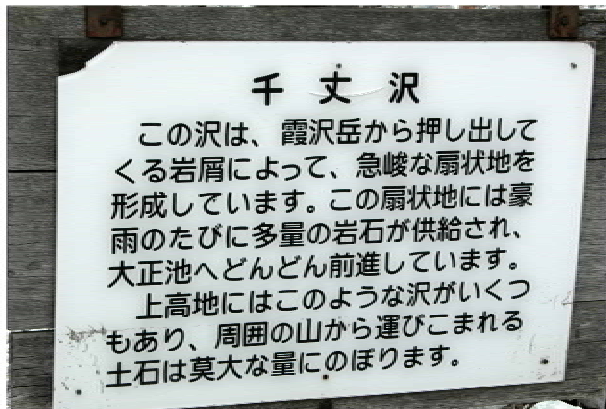
三本槍

霞沢岳

八右衛門沢



田代池



数十年前まではこんなに埋まっていなかった パンプなどの大正池とは全く違う雰囲気になった



大正池と焼岳 (大正4年のこの山の噴火がこの池を作ったが、大分変わってきた)



市川隊長



天然流生け花のように今は全身を見せているが前はこの半分くらいは水の中だったのだろう



楽しかった 雨に降られず、非常に幸運でした。隊長有難う。皆さんお疲れ様！